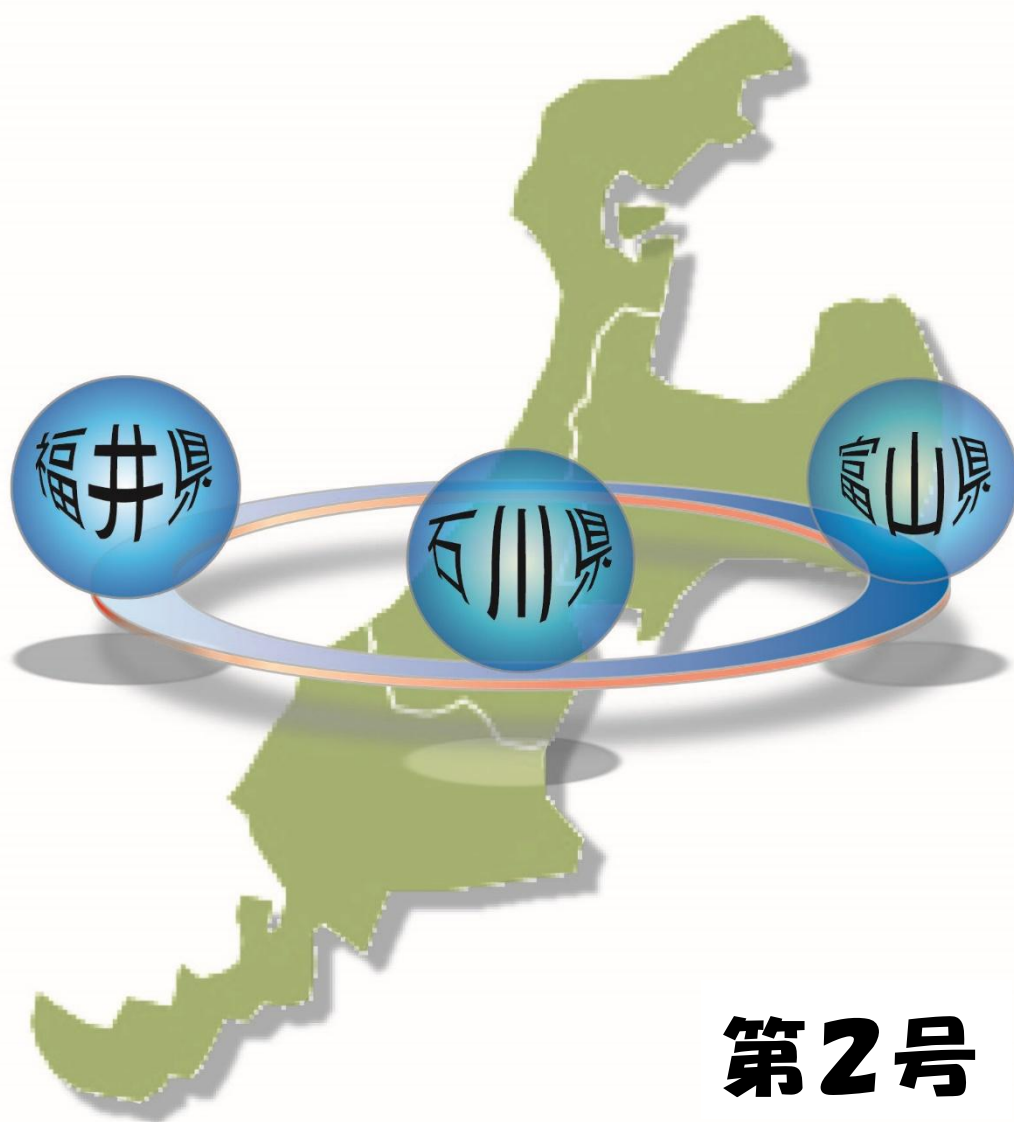


懇談会会報



北陸技術士懇談会

【事務局】	㈱日本海コンサルタント 内	〒921-8042	金沢市泉本町2丁目126番地	TEL 076-243-8258
【石川事務所】	㈱ホクコク地水 内	〒921-8021	金沢市御影町25-1番地	TEL 076-241-7158
【福井事務所】	環水工房(有) 内	〒910-0147	福井市森田町9丁目2-2番地	TEL 0776-67-7770
【富山事務所】	㈱アーキジオ 内	〒933-0824	高岡市西藤平蔵581番地	TEL 0766-63-8852

目 次

1. はじめに
2. 平成 26 年度総会・特別講演会報告
3. 平成 26 年度技術研修会報告
4. 平成 26 年度講演会報告
5. 平成 26 年度合格祝賀会報告
6. 平成 26 年度役員名簿
7. 平成 27 年度行事予定 (案)

1. はじめに

会員の皆様には北陸技術士懇談会の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。昨年からの懇談会の活動内容を「懇談会会報」として発行するようになり、これが第 2 号となります。

この懇談会は、富山、石川、福井の三県の技術士仲間の任意団体として 40 年を超える息の長い活動を続けており、講演会や技術研修会の開催をはじめ、昨年 11 月には 3 年ぶりに会員名簿の更新も行いました。この会報とともに会員間の情報交換・交流に活用いただければ幸いです。

さて、今年の 3 月 14 日に北陸新幹線が金沢まで開業し北陸は今まさに熱気に包まれています。さらに、能登半島の輪島市を舞台とした NHK 朝の連続テレビ小説「まれ」もスタートし、これらの舞台をはじめとして北陸に多くの観光客が訪れるものと期待されます。

また、10 月 1 日から 4 日間、公益社団法人日本技術士会の第 42 回全国大会が、「高志の国から未来創造」—日本海国土軸形成を目指して—という大会テーマのもと、富山県で開催されることになっており、これらの機会を通して北陸の素晴らしさ、北陸特有の技術などを全国にアピールする絶好の年になるのではないのでしょうか。ただ、この 1 年間だけ注目を浴びればいいのかではなく、来年も再来年も継続して注目を浴びていくためには、常に新鮮さを追及していくことが大切です。

同じように、この懇談会の会員はいろいろな分野の専門技術者で構成されていますが、同じ分野でも科学技術の奥は深く、会員一人ひとりがそれぞれ専門とする分野での技術の研鑽はもとより、異分野での最新の情報も吸収しながら常に技術の向上を目指していくことが大切だと思います。そして、その技術を地域の発展に、社会に貢献していくことが我々技術士の使命であり、その成果によって、技術士の重要性が社会に認識されていくものと考えています。

この懇談会の活動に積極的に参加していただき、異業種・異分野の会員との交流を通して、より一層の技術力向上につながるよう懇談会の活動内容を充実していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(副会長 橋本 栄治)

2. 平成 26 年度総会・特別講演会報告

平成 26 年度 北陸技術士懇談会の総会・特別講演会を平成 26 年 5 月 24 日 (土)、金沢勤労者プラザ 3F 会議室で行いました。

■総会

総会議事では①平成 25 年度決算、②平成 26 年度予算、③平成 26 年度年間スケジュール、④役員改選、⑤組織改正と進められ、いずれも原案通り可決されました。また、役員改選で松田 克志氏が新理事に選任されました。

【定例総会での有澤会長】



講演に先立ち、有澤会長から昨今の研究論文ねつ造問題を踏まえ「技術士としても倫理観が必要である。」との挨拶がありました。なお、出席者は 72 名でした。

■総会特別講演会

演題 1：ニュートリノで宇宙・素粒子の謎を解く

東京大学宇宙線研究所神岡宇宙素粒子研究施設
特任助教 理学博士 中山 祥英氏

(1) ニュートリノとは

「ニュートリノ」とは、「素粒子」の一つで宇宙に 3 億個/ m^3 と満ち溢れています。

ニュートリノの最大の特徴は物質と殆ど反応しないということです。例えば太陽から飛んでくるニュートリノが物質と衝突する確率は、地球を 50 億個貫いて 1 回衝突するかしないかの確率です。

(2) ニュートリノをどのように検出するのか

ニュートリノが水分子の原子核と衝突すると原子核が微光を発するという物理現象を利用し、この微弱な光を捉える計測施設が「スーパーカミオカンデ」で、この施設は衝突確率を高めるため 5 万トンの超純水を蓄えたタンクと微光をキャッチする 1 万個の高感度光センサーで構成されています。なお、「スーパーカミオカンデ」施設は神岡鉱山地下 1000m に設置されています。

【中山講師】



(3) ニュートリノの種類について

これまでの研究で3種類のニュートリノとそれに対する反粒子(反ニュートリノ)の存在がわかっています。

- ①電子ニュートリノ+その反粒子
- ②ミューニュートリノ+その反粒子
- ③タウニュートリノ+その反粒子

(4) ニュートリノ振動を調べる

「ニュートリノ振動」とはニュートリノが飛行中に「ミューニュートリノ」⇒「タウニュートリノ」⇒「電子ニュートリノ」⇒・・・と別の種類のニュートリノに変化する現象を言い、これにより下記のことになります。

- ①重さ(2つのニュートリノ質量の差)
- ②ニュートリノの混ざり具合
- ③ニュートリノと反ニュートリノの法則の違い

この解明のため、2010年から「スーパーカミオカンデ」から295km離れた東海村のJ-PARC Main Ringから放出された人工ニュートリノを計測するT2K実験を行っています。

(5) 今後のニュートリノ研究

宇宙誕生を研究するには、ニュートリノと反ニュートリノの挙動をより深く研究する必要があります。そのため、「スーパーカミオカンデ」の20倍以上の規模の「ハイパーカミオカンデ」を2025年頃までに建設し実験に取り組みたいと考えています。

演題2: 救急医から見た移植医療

～理想とジレンマのはざま～

富山大学大学院医学薬学研究部(医学)

客員教授 有嶋 拓郎氏

(1) 日本での心肺蘇生法普及のきっかけ

1986年1月、日本女子バレーボール・チームのフロー・ハイマン選手(米)がベンチで突然倒れ、担架で運び出されるシーンがTVで流れ、それに対し米国から「その場でなぜ心肺蘇生をしないのか?」と批判されました。それ以後、日本で心肺蘇生法が普及しました。

(2) 「白雪姫の蘇生」と「キリストの復活」

昔から童話、宗教書等に脳死に近い人が生き返った話が載っています。その代表的事例として、白雪姫やキリストの復活を挙げます。

つまり、人が理不尽な死に直面することがあったり、人が人を殺傷するようになって、死を美化する必要が出てきました。しかし、今日では、脳死の観点から、人間の死を見直す時代になりました。

(3) 人間の死とは

覚醒 ⇒ **最小意識状態** ⇒ 植物状態 ⇒ 昏睡 ⇒ **脳死** ⇒ 死亡

脳死とは、全脳死をもって脳死とし、ひとたび脳死に陥れば、いかに多臓器への保護手段をとろうとも心停止に至り、決して回復することはない。この判定を厳格化することで臓器移植が倫理的にも可能な状況となってきました。

(4) 日本での臓器提供の状況

日本では臓器移植希望者と提供者のギャップが大きく、資源の奪い合い状況になっています。そのため、日本臓器移植ネットワークで臓器意志登録の呼びかけを行っています。

【有嶋講師】

(5) iPS細胞への期待

臓器提供者が少ない現在、iPS細胞から臓器を作成することが有望視されています。しかし、現時点では医療や治療薬等へ完全に应用できるまでにはまだ時間が掛かります。



(6) 子供の臓器提供の問題点

米国では5歳未満の死体ドナー数の20%前後が「虐待」に関しているといわれています。

そのため、子供の臓器移植に関して、医療倫理規定で児童虐待の有無を調査することになっていました。大学病院も富山県の児童相談所に虐待の有無の照会をしましたが、「個人情報保護」を理由に始めは拒絶されました。しかし、そのような事実が無いことが報告され無事手術を終えることができました。今は大学病院と児童相談所とは良好な関係です。

(7) 最後に臓器病院としての心構え

臓器提供病院として6才未満の脳死下臓器手術が無事行えたのは

- ①臓器提供の家族の強い思い
- ②院内外の適正な判断と協力 でありました。

そのため、『死人に口なし』、『見ざる、聞かざる、言わざる』の立ち位置を敢えて取らずに、患者の意思はどこにあるのかを、一度は皆で立ち止まり一緒に考えることが臓器提供病院として必要です。

■交流会

【乾杯の挨拶をする今度副会長】



総会および講演会后、講師を囲んだ交流会を行いました。長時間の聴講の後、喉に入るビールの味は格別でした。急に暑くなってきたこともあり、有嶋先生に熱中症対策について伺ったところ「体が暑さに慣れていないこともあり、5、6月に熱中症になる人が多い。対策として「朝食をしっかり取ることが大切」とのアドバイスをいただきました。

文責: 石川 岡村 興一

3. 平成 26 年度技術研修会報告

第 1 回技術研修会が平成26年10月25日（土）、金沢勤労者プラザ研修室で行われ、約70名の参加者がありました。講演に先立っての有澤会長からの挨拶では、本日の講演にもある日本再興戦略をしっかりと考えていくべきである。災害に対し技術士の全部門が一致団結していかなければならないと述べられました。

■技術研修会の内容

講演 1：「政府の『日本再興戦略 2014』にて明記された『森林・林業の成長産業化』の可能性について」～今注目を集める森林・林業の現状と将来展望～

小澤 聖輔 氏 (株)マザールコーポレーション代表取締役社長

小澤氏は全国でも数少ない森林部門の技術士です。最近の森林・林業への関心の高まりを背景とした業界事情を中心にわかりやすく講演していただきました。

森林・林業の現状は、世界の木材消費量・生産量共に増加傾向であるのに対し、日本の木材需要量は減少傾向であり、需要量増加が課題です。

【小澤講師のご講演】



森林・林業の将来展望は、木質バイオマス発電所の建設増加が見込まれるということ、木材利用による健康的な住環境の形成、炭素貯蔵、化石燃料の代替の面で効果が大きいなど、地球温暖化防止にも大きく貢献しているということです。

森林・林業の成長産業としての可能性は、国策としての木材自給率50%へ向けた支援体制が充実してきていること、資源の乏しい日本において森林は蓄積量50億m³を保有する資源大国であること、また、バイオマス発電、地中杭、保存処理木材等の技術革新、地産地消の地域に根ざした産業構造が地方創生を推進していることなどがあげられます。

質疑応答では、自給率を上げるうえでの樹種は杉でよいのかという問いに対し、混交林のように広葉樹の植栽も必要と回答されました。

講演 2：「ものづくり現場から見る工作機械の現状と課題」金子 義幸 氏 高松機械(株) 技術部開発課研究グループ課長

金子氏は機械部門の技術士です。「稼ぐ機械を提

供する」を理念とする高松機械工業株式会社にお勤めであり、工作機械を取り巻く情勢について講演していただきました。

【金子講師のご講演】



工作機械とは、私たちの身の回りの様々な製品の部品を1ミクロンの精密な寸法で作るための機械であり、「マザーマシン（母なる機械）」とも呼ばれています。工作機械の起源は古代エジプト（紀元前3世紀頃）と言われています。その後、産業革命の頃に「ウィルキンソンのシリンダ中ぐり盤」ができ、これによってワットの蒸気機関も実現したということです。

その後、工作機械は木製から金属製へ変わり、1797年、近代工作機械の源と呼ばれる「モーズレイのねじ切り旋盤」が誕生しました。これにより、ボルトとナットの互換性が可能になりました。

日本の工作機械は一般部品、自動車、家電、電子機器、工作機械、宇宙航空機、医療部門などあらゆる分野に対応しています。

高松機械(株)は旋盤と周辺装置（ロボット、計測装置、ストック装置、洗浄装置）で構成される自動化システムを製作しています。さらに、女性目線での開発、高付加価値化など、差別化にも取り組んでいます。

また、非円形の自由曲面形状を旋盤で加工してダルマができる、つまり円でないものを旋盤で加工するというお話を動画で示していただき、非常に印象的でした。

最後に北陸本部機械部門等技術士の活動で交流の輪を広げているというお話で締めくくられました。

質疑応答では、工作機械スリム化の苦労は？という質問に、オーバースペックの部品に対し、剛性を確保しつつ配置を換えることでスリム化を図ると回答されました。

講演 3：「富山市公共下水道 松川雨水貯留施設整備事業について」前川 幸大 氏 富山市上下水道局

前川氏は、富山市へお勤めの上下水道部門の技術士です。富山市の公共下水道は、昭和 25 年戦災復興都市計画事業の着手と共にスタートし、平成 26 年 3 月末での人口普及率は 90.7%です。

松川雨水貯留施設整備事業は、中心市街地の浸水被害の軽減と一級河川松川の水質保全対策を目的として実施されました。中心市街地であるため、地上に設置することができず、延長1,069mのトンネル方式とし、平成29年度の完成を目指しています。

設計降雨強度は、時間雨量58mm/hr（10年確率降雨）です。浸水被害の軽減対策貯留量17,090m³、水質保全対策貯留量5,600m³で、水質保全用と浸水用を内径5mの管内の壁で分けられています。貯留管はシールド工法、発進立坑土留壁は地中連続壁工法による施工です。

大雨の際、下水管には雨水と一緒に空気も引き込まれ、水と空気が吹き上がる現象が起こります。それを防ぐため、9mの深さまで水を効果的に落とす螺旋案内式流入管（ドロップシャフト）という工法を採用されました。このような空気が貯留管に与える影響を確認するために、1/16サイズの貯留管模型を製作したということです。

【前川講師のご講演】



また工事見学会の実施、ハザードマップの作成・住民への周知等、住民との協働で、防災意識向上による被害の最小化にも努めているということです。

質疑応答では、今後の維持管理について回答していただきました。管理は当面、年1回の目視点検を行っていく予定だということです。

■交流会

研修会後は講師の方々を囲んで交流会を開催しました。橋本副会長の挨拶に始まり、和やかな雰囲気の中、講演会で足りなかった質疑や議論が交されました。

【交流会の様子】



文責：福井 池田 保裕

4. 平成26年度講演会報告

北陸技術士懇談会の第2回講演会が、平成27年2月7日（土）、金沢勤労者プラザに会員72名（講師除く）の聴講の下に行われた。

有澤会長のお挨拶では、先般当会の名簿発刊に関し会員皆様のご協力に感謝する。また、今年10月には日本技術士会全国大会が富山で開催されることになっている。成功させるためには是非会員の皆様の御協力をお願いしたい、とのことであった。

今回の講演は、企業の発展途上におけるターニングポイント・考え方について、そしてもう一件は健康面において「食」をテーマに西洋医学にはない漢方の重要性について講演をしていただいた。

■講演内容

講演1：「EIZOのターニングポイント」

実盛 祥隆 氏

(EIZO株式会社 代表取締役社長)

◆会社の概要について

EIZO株式会社は、モニターの開発から製造・販売まで一貫して行う会社であり、現在グループ社員総数で2,300人、連結売上高は約736億円に上り、この分野では日本のトップ企業である。

◆事業内容について

主な市場は、①医療市場、②グラフィックス市場③ATC市場、④エンターティメント市場、⑤産業市場、⑥一般（汎用）市場、⑦アミューズメント（パチンコ・パチスロ）市場であり、アメリカを始め中国、西欧諸国に9つの海外拠点を持つグローバル企業である。

◆ターニングポイント

- ① 海外生産方針からの撤退
- ② グローバル体制
- ③ 企業文化の透明化と会社組織の改革
- ④ 市場不具合への対応
- ⑤ M&A（事業強化）
- ⑥ 直販体制への移行
- ⑦ 社名の統一

以上7つのターニングポイントがあり、経営者として積極的に推進した。

【実盛講師のご講演】



◆EIZOの強み

- ① 明確なビジネスモデル
経営リソースのシナジーを活かした事業展開

- ② グローバル体制
- ③ 新たな価値の提供
技術を自社内に蓄積し新製品をクリエイト
- ④ 企業文化
オープン／フランク化であり、多様性、自社製品への誇りを持つ。

◆今年のキーワード

PARADIGMを変える。
「もうモニターメーカーとは言わせない。」
以上、企業の発展とそのポイントについて非常に興味深い講演内容であった。

講演2：「食」から健康を考える」

～漢方の立場から～

劉 園英 氏

(北陸大学薬学部教授 東洋医薬学)

◆日本の平均寿命と健康寿命

日本の平均寿命は世界で男性 80.2 歳 (12 位) 女性 86.6 歳 (1 位) であるが、健康寿命となると男性 71 歳女性 74 歳と、ほぼ 10 年程度の不健康な期間がある。

◆現代人の食生活

暴飲・暴食、不摂生、不養生である。

◆食品の添加物 (=化学食品)

化学薬品は体に良くないことは明白である。食品の中に含まれている添加物が問題であり、低体温化が生じる。

【劉講師のご講演】



◆現代子の「脳の栄養過不足」

食の変化により胃腸の冷えがおこり、脳が栄養不足となる。そのことにより、自立神経失調症やビタミン不足によるイジメ・暴力等がおこる。

◆漢方ってなに？ バランス医学

自然食を主とした東洋医学で食物繊維＋暖かい水分により、低体温と低酵素を予防する。暑すぎず寒すぎずのバランスが重要で、免疫力UPに繋がる。

◆「食」は人によくなる

未病を治癒するのは食である。

◆中国の古い医事制度

中国では、食医・疾医・瘍医・獣医があり、食医が一番上のランクとなっている。

◆漢方の食養生－食療・食養

食療とは治療を目的としたもので、食養は予防が目的である。即ち食を通じて命を養うことである。

◆医食同源 (薬食同源)

食は薬にもなり得るという意味である。

◆食味・食色と五臓

食材は、その味と色によって異なる作用をもつもので五味、五色をバランスよく調和させて摂取することが重要である。

◆食性と体質の調和

食べ物は、その食べ物の性質と自分の体質を考えて摂取することが重要である。快食のためには、まず野菜、果物など食物繊維から先に摂る様にし、後に主食を摂るようにする。

◆季節に対応する食養生

五臓を養うには地理的なもの (地場産)、かつ、旬な食物、季節の特徴を考えることが重要である。

◆冷えを改善する養生法

①何事もバランス良く糖분을控える。②足湯・半身浴、③下半身の筋力アップ、④お腹を冷やさない。⑤ツボ刺激、⑥肩凝りに効く葛湯、アーモンド (くるみ) の適量摂取

◆便秘の食養生

まず、食物繊維を摂取し、冷飲・冷食を控える。

◆花粉症の食養生

これも前述同様、体を冷やさないことが基本であり、冷飲・菓子パンなどの甘いものを控える。

◆食は「命」

乱れた食習慣を見直し、健康を第一に考えましょう！ 健康寿命を延ばし、楽しい人生を過ごすには、今一度食習慣の見直しを行い、精神的にも身体的にもリラックスさせることが重要となる。

■交流会

橋本副会長の音頭で乾杯の後、実盛社長は残念ながら欠席であったが、劉先生を囲んで和やかな懇親に入った。講演後にご自身の出版された書籍を実費販売され、交流会では「サイン会」も行われた。劉先生は北京出身で現在の北陸大学の前は福井医科大学にも5年間勤務されていたそうで非常に親しみやすい先生であった。

また、会員同士お互いの近況を語り合い和気藹々のうちに終了の時間となり、今度副会長の音頭で中締め後、散会となった。

【交流会風景】



文責：福井 高岡昌和

5. 平成 26 年度合格祝賀会報告

- 1) 日時：平成 27 年 4 月 4 日（土）
- 2) 場所：金沢 ANA クラウンズプラザホテル
- 3) 参加人数：二次試験新合格者 17 名、二次試験追加合格者 8 名、一次試験新合格者 17 名
一般技術士 56 名、招待者・事務員 4 名、合計：102 名

【全体風景】



【名刺交換風景】



【二次試験合格者紹介】



【追加合格者紹介】



【一次試験合格者紹介】



【じゃんけんゲーム最終戦】



●平成 26 年度北陸 3 県内合格者名簿（官報及び当会で確認できた方のみ掲載：H27.3.31 現在）

1) 第二次試験合格者（官報より）★ 当会に連絡のあった方は県名及び勤務先掲載：合格者総数：87 名

県	名前	部門	勤務先	県	名前	部門	勤務先	県	名前	部門	勤務先
石川	桶田 昌吾	機械	澁谷工業㈱		鈴木 祥弘	建設		富山	細川 幸一	農業	
	末定 新治	電気電子		石川	武沢 直貴	建設	㈱日本海コンサルタント	富山	大島 哲文	農業	㈱雄川
	北元 芳明	電気電子		石川	佃田 智昭	建設	公財)いしかわまちづくり技術セク	富山	福井 裕介	農業	丸一調査設計㈱
	古村 峰雄	電気電子			川添 雅弘	建設		富山	神谷 光洋	農業	
	三崎 崇史	繊維			田中 辰徳	建設			西島 太加志	農業	
	勝見 百合	金属			米田 祐吉	建設			西 健之	森林	
富山	石井 仁美	建設	㈱アーキジオ		高田 大輔	建設		富山	園田 里見	森林	
石川	垣内 広志	建設	アキュテック㈱		立場川 誠一	建設		富山	河原 洋行	経営工学	日本曹達株式会社 高岡工場
石川	尾蔵 文房	建設	㈱ホクコク地水		伊藤 洋太郎	建設			渡邊 博英	経営工学	
	天満 稔	建設			須澤 浩之	建設			山下 情智	経営工学	
石川	橋爪 克典	建設	㈱日研技術	石川	石田 浩之	建設	金沢市役所		藤田 有二	応用理学	
石川	古川 博人	建設	ナチュラルコンサルタント㈱		今泉 治郎	建設			北澤 昌典	応用理学	
石川	喜多 敏春	建設	㈱日本海コンサルタント		平野 貴也	建設		石川	葛本 健大	応用理学	ナチュラルコンサルタント㈱
	藤田 貴準	建設			鈴木 秀城	建設			篠原 良彰	応用理学	
石川	三谷 晃司	建設	㈱日本海コンサルタント		鳥 和彦	建設		石川	辰橋 浩二	環境	㈱国土開発センター
石川	中川 真理	建設	㈱計画情報研究所		森下 剛史	建設			宮 久泰	環境	
	向井 優	建設			阿部 雅弘	建設		富山	有若 友章	総監	川田工業㈱
石川	高本 充浩	建設	加賀市役所	石川	加藤 修子	建設	㈱東洋設計	石川	横山 誠	総監	㈱日本海コンサルタント
	畠中 泰彦	建設		石川	前 正人	建設	㈱国土開発センター		柏川 寛文	総監	
石川	埜 正浩	建設	㈱日本海コンサルタント	石川	横谷 剛志	建設	石川県庁	石川	濱田 昌明	総監	北陸電力㈱
石川	真鍋 精章	建設	ナチュラルコンサルタント㈱	富山	酒井 正道	建設	富山市役所		堅田 達也	総監	
石川	甲部 正章	建設	石川県農林水産部	富山	古村 峰雄	建設	北陸電気工事㈱	石川	鈴木 一隆	総監	中日本高速道路㈱ 金沢支社
富山	浦嶋 公夫	建設	北陸電力㈱富山支店		酒井 正道	上下水道			高橋 康朗	総監	
	高田 英和	建設			熊野 誠文	上下水道		富山	竹沢 良治	総監	富山県土地改良事業団体連合会
石川	本山 憲一	建設	中日本高速道路㈱	石川	山崎 正志	上下水道	㈱東洋設計	石川	七郎丸 一孝	総監	㈱国土開発センター
	吉枝 護	建設			福島 聡一郎	上下水道		石川	水間 隆好	総監	㈱富士通北陸システムズ
	守田 一夫	建設		石川	横山 仁志	上下水道	㈱国土開発センター		中平 啓二	総監	
	上ノ園 隆浩	建設			福井 山本 雅之	上下水道	㈱サンワコン				
石川	荻田 真憲	建設	㈱ホクコク地水	福井	前川 孝	上下水道					
石川	山下 智	建設	㈱パスコ		大月 紳司	上下水道					

2) 第一次試験合格者（★ 当会に連絡のあった方のみ）：石川試験会場での合格者総数：214 名

県	名前	部門	勤務先	県	名前	部門	勤務先	県	名前	部門	勤務先
石川	石原 将介	環境	エヌエス環境㈱	石川	出口 幸一	経営工学	ニッコー㈱	富山	角谷 朋亮	電気電子	北陸電力㈱
石川	石山 康蔵	電気電子	㈱協和エクシオ	石川	長清 俊騎	建設	大鉄工業㈱	富山	池田 智和	化学	日本ゼオン㈱
石川	小川 万里絵	建設	㈱利水社	石川	中村 龍吾	上下水道	荏原商事㈱	富山	杉本 光司	建設	㈱建設マネジメント北陸
石川	夏 俊卿	化学	金沢大学（在学中）	石川	中山 峰則	建設	㈱新日本コンサルタント	富山	高野 将人	建設	㈱明和
石川	琴 東勤	電気電子	日本キスコ㈱	石川	原見 諭	機械	㈱メイティックフィルダーズ	富山	高橋 英治	建設	㈱本間組
石川	黒瀬 浩	情報工学	金沢工業大学	石川	水戸 光康	建設	中日本ワイワイ・メンテナンス北陸㈱	富山	谷川 修	環境	
石川	紺谷 欣治	機械	北電技術コンサルタント㈱	石川	宮本 憲治	建設	北陸地方整備局富山河川国道事務所	富山	富田 雅俊	上下水道	射水市役所
石川	境田 秀一	衛生工学	㈱金沢村田製作所	石川	向 雄貴	上下水道	㈱中央設計技術研究所	富山	原田 泰行	水産	富山県農林水産総合技術センター
石川	真田 猛	建設	㈱利水社	石川	室田 和廣	衛生工学	山藤管工㈱	富山	藤本 真紀	建設	国土交通省北陸地方整備局
石川	稚森 由香	農業	㈱パスコ	石川	山田 卓也	電気電子	北陸電力㈱福井支店	富山	皆川 章	建設	㈱アーステクト
石川	世良 裕次	環境	アルスコンサルタント㈱	石川	山本 功	建設	北市コンサルタント	富山	四柳 武志	建設	射水市役所
石川	館 利彦	農業	石川県土地改良事業団体連合会	石川	吉田 功介	電気電子	㈱金沢エンジニアリングシステムズ	富山	米澤 一浩	建設	高岡市役所
石川	立見 康則	経営工学	福島印刷㈱	石川	山村 啓一	建設	㈱日本海コンサルタント	富山	鷺澤 和弥	電気電子	黒部川電力㈱

2) 第一次試験合格者 (つづき)

県	名 前	部門	勤 務 先	県	名 前	部門	勤 務 先	県	名 前	部門	勤 務 先
福井	柿本 高志	建設	㈱環境総合テクノス	福井	高田 康平	建設	福井工業高等専門学校	福井	羽生 新吾	原子放射	
福井	金本 明謙	建設	㈱アトックス福井営業所	福井	高橋 美玖	建設	福井工業高等専門学校	福井	濱本 満	衛生工学	三菱電機ビルテクノサービス㈱
福井	刈安 弘道	繊維	日本ダム㈱	福井	塚本 湧正	建設		福井	藤田 義憲	森林	福井県奥越農林総合事務所
福井	齋藤 高輝	建設	公社)福井県建設技術公社	福井	内藤 和博	建設		福井	船木 啓太	建設	国立福井工業高等専門学校 (生徒)
福井	斉藤 真樹	原子放射	市立敦賀病院	福井	中村 泉生	建設	福井工業高等専門学校 (生徒)	福井	三谷 進	電気電子	
福井	白崎 能生	建設		福井	野村 直生	原子放射	㈱千代田テクノ	福井	岩堀 圭吾	機械	㈱オーディオテクニカフクイ
福井	三村 優太	建設		福井	大同 誠	機械	関電プラント㈱				

6. 平成 26 年度役員名簿

役 職	名 前	県名	部 門	勤 務 先	役 職		
会 長	有澤 良一	富山	建設	(株)アリサワ技術	代表取締役社長		
副会長	橋本 栄治	福井	建設	前田建設工業㈱	関西支店・顧問		
副会長	今度 充之	石川	建設	東京コンサルタンツ㈱	取締役北陸統括		
理事(事業)	池田 保裕	福井	建設	京福コンサルタンツ㈱	敦賀支店 取締役部長		
理事(事業)	今成 康忠	石川	農業	エーブルコンサルタンツ㈱	技術担当理事		
理事(業務)	大深 伸尚	石川	建設	アルスコンサルタンツ㈱	代表取締役社長		
理事(事業)	岡村 興一	石川	機械	岡村技術士事務所	所長		
理事(総務)	岸 竜太郎	福井	建設	(株)Eco&Eco	代表取締役		
理事(業務)	小林 務	富山	機械	ライフ研究所	所長		
理事(青年)	佐々井 忍	富山	建設	共和クレーン(有)	代表取締役		
理事(総務)	佐渡 正	富山	建設	館下コンサルタンツ㈱	代表取締役社長		
理事(事業)	城石 日出人	富山	建設	総監	—		
理事(事業)	高岡 昌和	福井	農業	丸一調査設計㈱	代表取締役		
理事(業務)	竹内 勝信	富山	建設	総監	(株)アーキジオ		
理事(青年)	笏田 照代	福井	環境	建設	農業	(株)北陸環境科学研究所	環境科学部主任研究員
理事(事業)	田知 清英	富山	応理	総監	北電技術コンサルタンツ㈱	経営企画部長兼品質保証担当部長	
理事(青年)	辰橋 浩二	石川	建設	環境	(株)国土開発センター	環境 1 部 主席技師	
理事(業務)	為沢 剛	福井	農業		福井県庁	福井農林総合事務所長	
理事(事業)	辻 隆治	福井	建設	総監	(株)サンワコン	地域計画部長	
理事(業務)	中塚 文和	福井	農業	総監	(株)ニッテックコンサル	取締役副社長	
理事(青年)	平澤 由佳	石川	農業		(株)国土開発センター	設計事業部設計 3 部担当部長	
理事(総務)	森下 正	富山	機械		川田工業㈱	北陸事業部・主幹	
理事(事業)	松田 克志	石川	応理		(株)ホクコク地水		
理事(総務)	埴 正浩	石川	建設	総監	(株)日本海コンサルタンツ	専務取締役	
監 事	加藤 充哉	石川	上下	環境	総監	加藤技術士事務所	所長
監 事	坂井 正明	福井	上下			環水工房(有)	代表取締役
監 事	森田 清三	富山	農業			朝日コンサルタンツ㈱	技術参与
相談役	津田 直昭	福井	上下	衛生		第一技術開発㈱	顧問営業所長
相談役・事務局長	屋敷 弘	石川	建設	農業	総監	(株)日本海コンサルタンツ	常任相談役

注：理事 () は所属委員会を示す。(青年)は「女性・青年委員会」の略。

7. 平成 27 年度行事予定 (案)

開催予定月日	事 業 内 容
平成 27 年 4~6 月	富山・福井にて 技術士試験講習会 (詳細は各県支部にお問い合わせください。)
平成 27 年 6 月 6 日	平成 27 年度総会・特別講演会 (金沢勤労者プラザ)
平成 27 年 7 月 25 日	平成 27 年度第 1 回役員会 (金沢)
平成 27 年 7 月 19, 20	技術士第二次試験 (金沢工業大学予定) 19 日：総監部門、20 日：総監以外部門
平成 27 年 10 月 1 日	第 42 回 技術士全国大会 (北陸・富山) (10 月 1 日~4 日)
平成 27 年 10 月 13 日	技術士第一次試験 (金沢工業大学予定)
平成 27 年 11 月 8 日	技術研修会 (金沢勤労者プラザ)
平成 28 年 1 月 31 日	技術講演会 (金沢勤労者プラザ)
平成 28 年 4 月 2 日	第 2 回役員会、平成 27 年度新技術士合格祝賀会 (ANA クラウンズプラザホテル)

★★ 編集後記 ★★

技術士第二次試験合格者が 87 名で、昨年の 71 名に対して 16 名の増、また第一次試験合格者は、214 名と同 107 名に対してジャスト倍増。喜ばしい限りで、第 2 号作成に力が入りました。今後もこの調子で北陸 3 県の技術士がますます増え、相互交流の場としての本会の発展にも寄与していただければ幸いです。なお、懇談会会員の方々には、技術士試験石川会場の試験監督などに多くのご支援いただいております。

北陸技術士懇談会 HP : <http://www.hokugikon.org/> 過去の行事資料や写真が掲載されています。